



令和4年度 11月号

桜丘だより



令和4年 11月 15日 西脇市立桜丘小学校 〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470
TEL 28-2203 FAX 28-2992 sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp

運動会を終えて

体育的行事担当

晴天に恵まれ、澄み切った秋空の下で、運動会を開催いたしました。児童は、運動会スローガン「一笑懸命」を達成するため、練習から“本気・全力”で頑張っていました。最後まであきらめず、すべてのプログラムに取り組む姿勢に成長を感じることができました。

保護者の皆様には、日々の児童の体調管理等、多くのご支援とご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

伝統の応援合戦では、紅白それぞれが学年を越えて一丸となり練習に取り組みました。6年生は、夏休み前から応援内容を考え、下級生への指導に悩みながらも、全学年をまとめ上げ、素晴らしい応援を見せてくれました。最高学年として自信をつけました。また、その様子を見ていた5年生は、来年は自分たちの番だと自覚を高めていました。



運動会の運営にあたりましては、PTA 委員の皆様を中心に、早朝より準備から片づけまで、ご協力をいただきました。桜丘小のチームワークや団結力をいつも心強く感じています。また、黒田庄中学校の2年生（本校卒業生）がトライやるアクションの一環として、テント設営・グラウンド整備をしてくださいました。大変な作業でしたが、成長した卒業生の姿を見ることができました。ありがとうございました。

皆様の協力のもと、素晴らしい運動会を開催することができました。本校では、日々の学校生活や学習活動で、児童のさらなる成長につなげられるように取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



<12月の予定> (※毎週金曜日は職員定時退勤日です。)

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
				After study	マラソン大会	
4	5	6	7	8	9	10
	口座引落	租税教室 (6年生)	委員会活動 マラソン大会準備日	After study チェリ一班		
11	12	13	14	15	16	17
	児童集会		芸術鑑賞会 教育相談(15:00) 一斉下校(14:20)	教育相談(15:00) 一斉下校(14:20)	教育相談(15:00) 一斉下校(14:20)	
18	19	20	21	22	23	24
	代表委員会			給食最終日/大掃除 一斉下校(14:20)	2学期終業式 一斉下校(10:30)	
25	26	27	28	29	30	31
冬期休業						
1月 10日(火) 3学期始業式 一斉下校(11:00)						



6年生

修学旅行を全力で楽しんできた6年生。

「あと1カ月ぐらい行つときたいわ〜。」なんて言葉も飛び出します。

そんな6年生は、「クラスらしさを音楽で伝えよう」と、音楽会に向け練習しています。

ところで、「このクラスらしさ」って何なのか、6年生にたずねてみました。

「個性があふれているところ！」

「助け合うのが当たり前のところ！」

「意見がちゃんと分かれるところ！」

「本気になったときに、円になって本音で語る場所！」

「よくうれし泣きをすること！」

聞いていると、確かにその通りとうなずけてきます。

気がつけば、卒業まであと4カ月と少し。

自分たちらしく、駆け抜けていきます。



命と向き合い、命に対する温かい心を育む

性教育担当



様々な情報が飛び交う社会の中で、性についての教育が、とても重要なものとなっています。本校では、科学的知識の理解、自他の命を大切にする心を育むため、各学年の発達段階に応じて『命の教育(性教育)』を進めています。

6年生は助産師による命の学習をしていただきました。生まれる過程だけでなく、生まれて今、ここにいることが奇跡だということや、命と向き合う現場の話もしてくださいました。講義後は妊婦体験や模擬産道を通る体験、赤ちゃんの抱っこなど体験学習も行いました。

また、コロナ禍で中止をしていた、『乳幼児ふれあい体験学習』を2年ぶりに実施しました。乳幼児とそのお母さん、妊婦さんをゲストティーチャーとしてお招きし、乳児や幼児を“だっこ”したり“あやし”たりと貴重な体験をさせていただきました。

「生まれることは奇跡だと分かった。」「大変な10か月間を乗り越えたお母さんはすごい。感謝したい。」「命の尊さを学んだ。大切にしたい。」「赤ちゃんがかわいかった。」そんな感想がたくさんありました。子どもたちにとって心に残る時間になったことはもちろん、命の尊さについて考えるきっかけになったのではないかと思います。

この命の教育を通して、自分たちの誕生が周りを笑顔にしたこと、ひとりひとりが大切な存在であることを感じ、自分や周りの人たちを大切にできる温かい人になってほしいと思っています。

